○担 任 者　　小 川 一 仁　連絡先 : kz-ogawa@kansai-u.ac.jp / ogawa.kazuhito@gmail.com

○テ ー マ　　最強の社会科学―フィールド実験とラボ実験--を学ぶ（そして実践する、かも）

○指導概要　　(1) 開発途上国で学校に来られない子供たちに学校に来させるには、どうしたらいいでしょうか？ (2) 保育園の営業終了時間を超えても子供を預けたままの親に時間を守らせるにはどうしたらいいでしょうか?(3) 子供に本気で勉強させ、目標を達成させるにはどんな方法がいいでしょうか?

(1)の答えは、学校に来た子供にお金をあげる、(2)は遅刻した場合に罰金を取ってはだめで、根気強く説得する、 (3)は先にご褒美を挙げて、目標未達の場合にはご褒美を(実際に)巻き上げる、です。すべてフィールド実験から得られた結果です。フィールド実験は最強の社会科学と呼ばれており、国内で本学以外に学べる大学は非常に少ないです。

いっぽう、こういった人々の行動が(経済)理論の予想と整合的かどうかをより厳密な状況の下に検討するのが、ラボ実験です。ラボは平成 26 年度に文部科学省から採択された経済実験センターの付置施設として本学に設置され、私学では早稲田大学に次ぐ位置にいます(って関係者は言ってます)。ラボ実験では、個人のリスク態度、時間への態度(=我慢強さ)、曖昧さへの態度、協力性向、利他性などが調べられます。

平成 28 年度の本ゼミでは、フィールド実験とラボ実験を勉強します。これら二つを学ぶためにはまず、社会科学の基本的な分析ツール―ゲーム理論と意思決定の科学―を習得する必要があります。そこで本ゼミでは、最初に人間行動の複雑性について、テキストを用いながら、輪読形式で勉強します(2 年生の 3 月・プレゼミとして)。その後、実験設計・実験実施の手法を学び、グループワークで、フィールド実験やラボ実験を設計していきます。フィールド実験については、東北または中国地方で大規模なものを実施できるかもしれません。その場合、皆さんはそこでの主役になります。ラボ実験はいつでもできるので、皆さんのアイデアがそのまま研究になるかもしれませんし、プロの研究者（京大・神大・府大・台湾東海大・韓国仁川大学 etc.）のお手伝いをしながら世界の最先端が体験できると思います。なお、こういった取り組みは週 1 回のゼミだけでは不十分ですので、追加でサブゼミを実施しています（特段の事情がない限り参加）。

このように、本ゼミでは先端的な学問の勉強をしながら、グループワークで企画を進めます。その中には社会人と関わることも多く出てくるでしょう。そういった取り組みは就職活動の糧になるでしょう。また、いっそう視野を広げてもらうために、夏休みに他大学との合同ゼミ合宿を行う予定です(国内外は未定)。これも参加必須です。合宿では上記グループワークの成果を報告していただきます。

○応募者への課題

QR コードの先にあるリーディングリストから 1 冊を選び、そのうち最も重要である 2 章を要約して下さい。何故その 2 章を選んだかも述べなさい。第 2 次募集以降でゼミを選んだ学生も課題を提出すること。

○教 科 書　　経済セミナー2015 年 6・7 月号　684 号「世の中を変えよう！　フィールド実験入門」ほか
○参考文献　　授業中に指示します。

○応募者への要望　社会常識の遵守だけでなく、やる気のある学生を求めています。ゼミコンパは各期 2 回程度あります。合宿(参加必須)もあります。質問はメールで、件名は「ゼミに関する質問」として下さい。3 年生ゼミは毎週火曜日 4 限 A207 で実施しています。9/29, 10/6、13 をゼミ見学日とします。本ゼミへの見学については事前連絡不要です。サブゼミは隔週火曜日 5 限 A207 または実習室で実施しています。サブゼミ見学希望の方は事前に連絡をください。

HP への QR コード

リーディングリストへの QR コード